



# 認定調査とつきクン通信 (H25第2号)

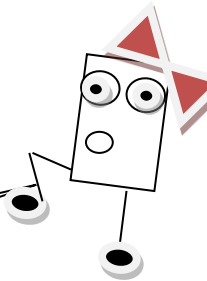
(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行しています)

## 1-9 片足立位(1秒)

### ① 確認動作が行える場合(聞き取り方)

※ ここはトイレまでの移動の確認をしてもらう中で歩行状況や立ち上がり等の一連の動作をしてもらう中で、その場で

できるだけゆっくり足踏みをしてください。



ここは、立ち上がりやトイレ等までの歩行の確認をしていく中で「その場で足踏みをしてください」・・・と言うと行ってもらえると思うよ。  
試してみてね!

### ●行った状況

・ ゆっくり足踏みしてもらったが、ふらつき直ぐに手すりにつかまった。

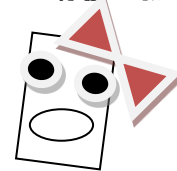
### 確認した状況から特記

・ ゆっくり足踏みしてもらったが、ふらつきがみられ直ぐに手すりにつかまった。普段の歩行時もふらつくので杖を使用しているとのこと「2・何か支えがあればできる」と判断した。

選択肢\*「2・何か支えがあればできる」\*

### ② 確認動作を行ってもらえなかった場合は、本人や家族から聞き取る(聞き取り方)

・ 風呂の縁をまたぐときはどのようにしていますか?  
・ 階段はどのように上っていますか?

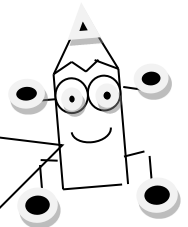


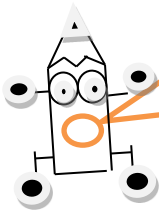
### 必ず確認してほしい内容

- ・ 確認動作が行えない理由や状況の確認
- ・ 過去1週間で頻回な状況・日頃の状況を確認。

● 聞き取った内容、選択した根拠等を具体的に「特記事項」に記載する

・ 「片足を1秒上げてください」と言うと、「できない」という人が多いと思うけど、それをもって「3・できない」にはしないでね。  
・ どちらか片方の足に体重を寄せられるのかの確認だよ。だから高く足を上げる必要はないよ。  
・ ここは歩行の状況、他の動作の確認をしていく中で判断できる場合があるよね。歩行が「1・できる」または「2・何かにつかまればできる」人は「3・できない」は考えにくいのできちんと確認してね!





今年度もよろしく  
お願いします。



介護保険課認定係  
平成29年4月3日

## 認定調査とつきクン通信 (H29第1号)

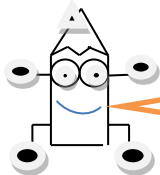
(H29年度は、認定調査員 e-ラーニングの問題から一緒に学びましょう)

**質問 1-9 片足での立位** (基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。)

自分の手で支えるのではなく、介護者によって支えられた状態でなければ片足を上げられない。

1. 支えなしでできる
2. 何か支えがあればできる
3. できない

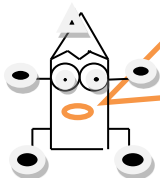
介護者によって支える？



ここの評価軸は、「介助の方法」ではなく、  
「能力」だから正解は**3**だね。

### e-ラーニング【解説】片足での立位の選択基準

自分では片足が上げられない、自分の手で支えるのではなく、介護者によって支えた状態でなければ片足を上げられない、あるいは、どのような状況であってもまったく片足で立つことができない場合、「**できない**」を選択します。



#### 《調査時に必ず確認》

- ・ 試行できる場合は、**試行する**
- ・ 試行できなかった場合は、**本人や立会者から聞き取る**

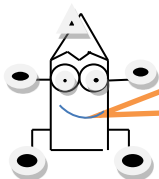
**日頃の状況が、異なればその状況も確認**

特に歩行・両足での立位・移動が、「**自立**」しているのに片足での立位が、「**支えが必要**」や「**できない**」は、疑問に思うよね。

(危険を伴う場合は、無理に試行せず聞き取った内容から判断する)

何もつかまらずに歩けるけど、「怖くて片足は上げられない」とか、言われることがあるわ。でも、それだけで「できない」にしてはいけないということよね。

なぜ「支えが必要」なのか、なぜ「できない」のか1秒片足立位の状況が特記に必要ってことでしょ。



その通り、選択した根拠となる特記がないと、確認が必要となってしまうよね。e-ラーニング、登録して問題解いてみてください。

